

皆さんの学習活動を応援します

問合せ 中央公民館 ☎0495-77-3671 FAX0495-77-5066

公民館では、学習・創造活動をさらに活発にする目的から、下記のような環境を整備しました。

- ・1階第一展示室内にエアコンを設置
- ・公衆無線LANサービス(フリーWi-Fi)の導入
- ・高窓に網戸を取り付けて換気効率を高める

また、その一環として1階第一展示室の一部を「学習室」とし、昨年8月より貸し出しを開始しております。今後も多くの方の学習活動に利用していただけるよう、改めてお知らせいたします。

詳しい内容は以下のとおりです。

- 《利用の具体例》 読書、自主学習、フリーWi-Fiを利用したWebページ閲覧 など
- 《利用の目安》 利用できる時間 午前9時～午後5時まで
 滞在できる時間 最大2時間まで
 利用できる席数 8席
- 《利用手続き》 中央公民館事務室にお声掛けください。

【注意】

施設入口にて、感染症拡大予防のための手指消毒・入館記録票記載にご協力ください。また、自宅での検温・マスク着用のうえお越しください。

新型コロナウイルス感染症等の感染症拡大状況によっては、上記条件の見直しを行う可能性があります。予めご了承ください。



人権作文代表作

見た目で判断してはいけない

青柳小学校四年 内海 未来

わたしは、道徳の授業の中で、黒人差別について先生から教わりました。最近ではテレビのニュースなどでも、黒人差別に対するデモなどが放送されていて、大きな社会問題なのだと思いました。

わたしは、この話を聞いて、どうして肌の色が違うということだけで差別を受けるのか分かりませんでした。それだけの理由で差別されている人達はかなしい思いをしているのではないかと思います。

でも、今までの自分を振り返ってみると、わたしも見た目だけでどんな人なのかを決めつけてしまっていたこともあったのではないかと思います。わたしは、スイミングの習いごとをしています。スイミングスクールでは自分の学校のお友達だけでなく、知らない人もいっしょに練習をすることがあります。わたしは、あまり自分から声をかけるといことが得意ではありませんでした。だから、知らない人と仲良くしようと思っても、なかなか上手にいかないこともあります。特に、同じ年なのですが、自分より体も大きくて、話しかけにくいふんいきの女の子がいました。いっしょに練習することもありませんでしたが、わたしは声をかけることができず、その子のことを苦手に思っていました。

そんなことを思いながらスイミングに通う中で、あるできごとがありました。わたしが平泳ぎの練習をしていて、一番良いタイムをだした時がありました。すると、苦手に思っていた女の子が近づいてきました。どうしたのだろうかと思っていたら、

「すごいね。平泳ぎ上手なんだね。」

た私は詳しく調べてみる事にしました。A県B市によると、市内で初めて感染者が確認されて以降、ネットの掲示板で、感染者や勤務先、滞在先などを特定しようとしていたり誹謗中傷したりするような書き込みが相次いだといえます。B市は「新型コロナウイルスを理由とした不当な差別、偏見、いじめがあつてはなりません」「情報の中には、不確かな情報や事実とは異なる情報もあります」として、むやみに拡散することなく、冷静な行動をとるよう市民に呼びかけているそうです。このようにネット上で新型コロナウイルス感染者への誹謗中傷が続いています。私は、前に授業でハンセン病について学んだ事を思い出しました。ハンセン病にかかってしまった人達も周りからの心ない言葉、社会から隔離され、心に深い傷を負いました。今も昔も病気にかかりたくてかかったわけではないのに、傷つけられ、まるで人として扱われていないように、社会から切り離されたようになっていくのです。私はとても悲しく思いました。たしかに、大切な人を苦しめ、奪っていく病気を憎いと思うのは皆同じです。ですが、憎いのは、感染してしまつた人達ではなく「病原体」です。苛立ちや、怒りの矛先が患者さん達に向くのはハッキリ言つて間違っています。皆分かってきているはずなのに、不安や焦りがつのつていてどうしようもないのはわかります。だから、そんな時こそ不要不急の外出はひかえ、みんなが一丸となってコロナウイルスの感染拡大をおさえれば過去にあった人たちの過ちをなぞらずにいられると思います。人は過去から学び、同じ事を繰り返さないよう、人を傷つけてはいけないという事をつねに心においておき、未来へとつなげていく事が大切だと思います。

その他の代表作 (タイトル、作者名)

- ネットでのいじめ
 神泉小二年 新井 悠斗
- 大切な家ぞく
 丹荘小三年 廣澤 美奈
- お父さんの笑顔
 渡瀬小五年 田中 ひなの
- 笑顔の力
 神泉小六年 小泉 ララ
- 性同一性障がい
 神泉小六年 小泉 ララ
- 性同一性障がいの理解
 神泉中一年 堀口 うるぎ
- 多様性を認め合う
 神泉中二年 奥原 彩日

ネットでの誹謗中傷

神川中学校三年 山崎 仁子

私は、インターネットのニュース記事で、新型コロナウイルスの感染が拡大する中、ネット上では、地域の感染者に対する誹謗中傷も広がっている、というものを目にしました。

と、わたしのことをほめてくれました。今まで会話もほとんどしたことなかったのに声をかけられて、とてもおどろきました。でも優しい言葉をかけてもらって、とてもうれしかったです。そのことがきっかけとなって、その女の子とも話をするのがふえてきました。今では、とても仲良しの友達になることができました。

スイミングの友達の話みたいに、深く関わってみると、見た目とちがう、その人の良さに気づくことができるのではないかと、わたしは思うようになりました。その人のことを分かってほしいと、見た目だけで判断することは、してはいけないことだと、今では強く思います。

これからもいろいろな場所でさまざまな人と出会っていくことと思います。はだの色や体つきなど、見た目だけでその人のことを判断するのではなく、相手のことを知る努力をしていきたいです。わたしは、自分から進んで声をかけるということが苦手でしたが、これからは色々な人達とも積極的にコミュニケーションがとれたらと思います。

このように、相手のことを考え、正しく分かってほしいとすれば、差別をされたくない思いをしている人達は少なくなっていくのではないかと思います。もし、見た目だけで相手のことを悪く言っている人がいたら、それは正しくないということをお教えていきたいです。自分のまわりにいる人達が差別をされてかない思いをしないうよう、自分でできることをしていけたらと思います。

私は、驚きました。何故こんな事をするのか、何の意味があるのかと。気になっ